

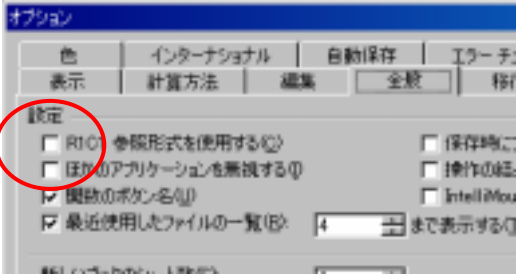
## 第 9 回 : Excel の関数・グラフの利用

### 1. セル参照と関数の利用

#### 1.1. 加減乗除

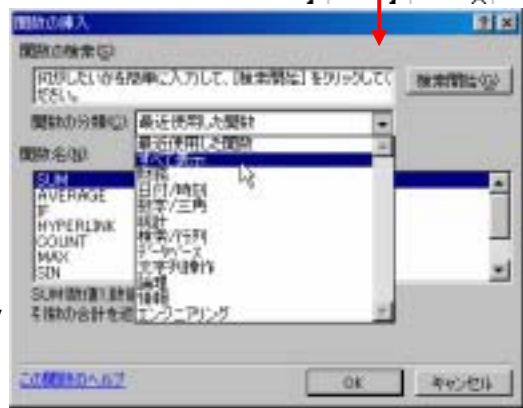
- 演算子： + (たす), - (ひく), \* (かける), / (わる), ^ (べき乗), % (百分率), & (文字の連結)
- 演算子の優先順位に注意： 優先順位は括弧 ( ) で明確に指定する
- 演算式的具体例はヘルプにある「一般的に使用される数式の例」等を参照。

#### 1.2. 絶対参照と相対参照

- 列・行番号 (A1, A2 ...) のほか ,R1C1 (R=行 row C=列 column) 形式の参照も可能 ([ツール] [オプション])。
 
- 計算式の中のセル名は ,特に指定しなければコピー・移動すると参照場所が移動する (相対参照)。
- 別のワークシートのセルも参照できる：ワークシート名!セル名
- 移動しないようにするには絶対参照にする： \$A1 (常に A 列), A\$1 (常に 1 行目), \$A\$1 (常に A1)

#### 1.3. 関数の利用

- Excel にはさまざまな関数が付属している。
  - COUNT (数える), COUNTIF (条件で数える), COUNTA (空でないセルの個数を数える)
  - IF (条件をチェック)
  - AVERAGE (平均), MAX (最大値), MIN (最小値)
  - RANK (順位を調べる)
  - ROUND (四捨五入)
  - SUM (合計), SUMIF (条件で合計)
- 文字列処理を行う関数もある。
  - LEFT, RIGHT, MID (特定の位置から, 特定の字数を取り出す)
  - LEN (文字数をカウント)
  - SUBSTITUTE (文字を置換)
- 関数中のデータは, 数値はそのまま, 文字列は “ ” で囲んで使う (数値としての 1 と文字列としての 1 は全く扱いが異なるので注意。1 ≠ "1")。
- 関数は計算式中にいくらかでも含めることができる。



### 2. グラフ

- グラフの種類を選択
- 系列の選択 (系列 = グラフで同じ色で表示するもの)
- データの選択とラベル (系列の名前, 項目軸)
- グラフの種類を選択 (場合によっては)
- グラフは部品ごとに書式をさまざまに変更可能 (右クリック [書式設定] を活用)
- 重ね合わせグラフの作成 : 「グラフ」 ツールバーで設定
- グラフの 2 軸化 : 「データ系列の書式設定」 で設定